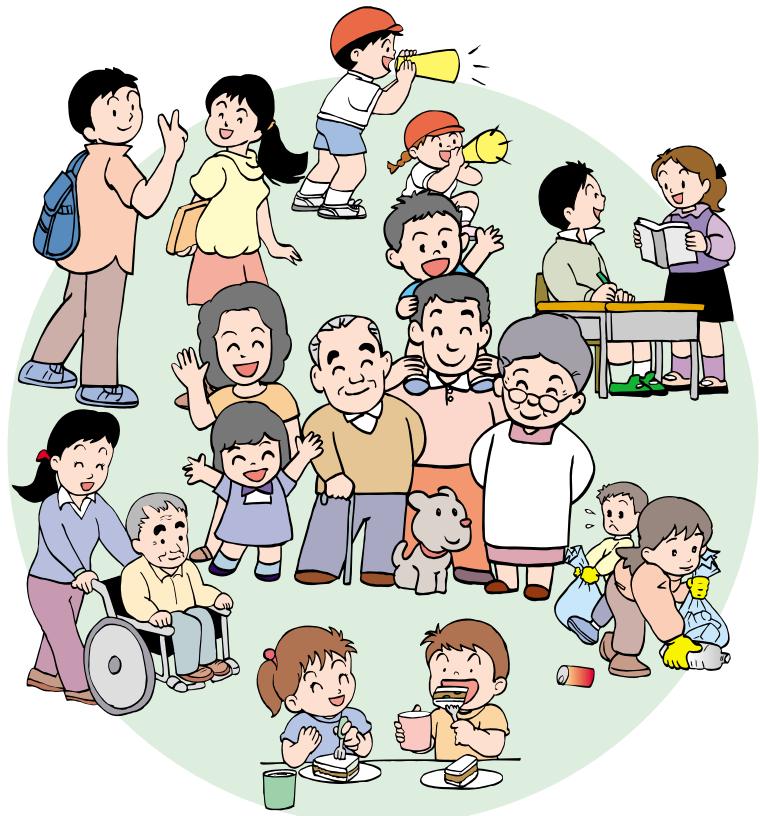


# 一人ひとりが 幸せに暮らす社会のために



平成20年3月  
下野市

# 子どもの誕生・成長

あなたやあなたの周りでは「男性だから」「女性だから」というような思い込みや、アレ?と思ってもやり過ごしてきたことはありませんか。

このパンフレットは、子どもの誕生・成長、結婚・出産の場面や、家庭、職場、地域などそれぞれの身近な場面で、「男性だから」「女性だから」などと無意識に考えたり、行動していないかをチェックしていただくために作成しました。

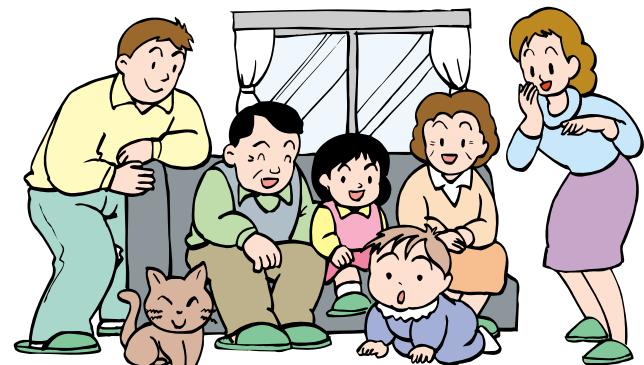
性別にとらわれずに「自分らしさ」を大切にして豊かな生活を送るため、このパンフレットを活用してぜひ一緒に考えてみましょう。

## 目次

子どもの誕生・成長	1
学校・就職	2
結婚・出産	3
家庭で	4
職場で	6
地域で	8
DVをなくそう!	12
男女共同参画プランとは?	13

あなたはこれまで、  
このように考えたことはありませんか。

- ・男の子が生まれると、跡取りが出来てよかったです。
- ・女の子なら、老後の世話をしてくれるだろうから安心だ。
- ・女の子は優しく、男の子はたくましく育てたほうがよい。

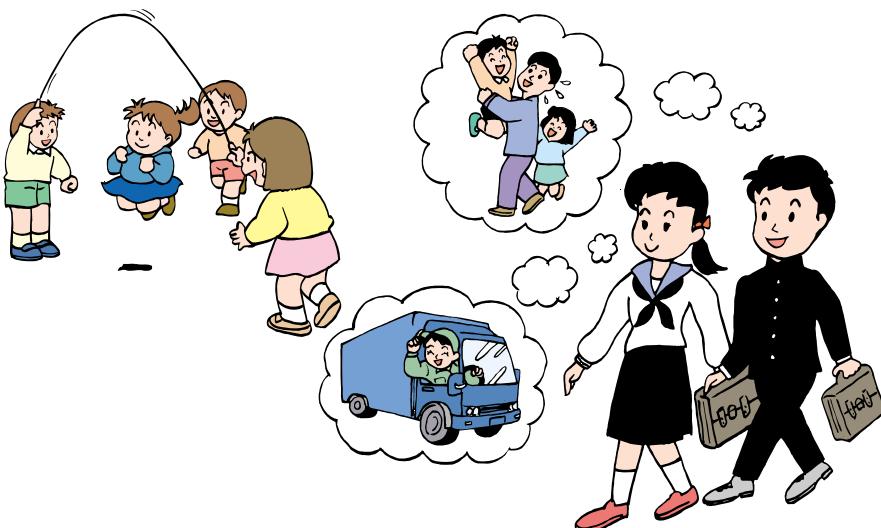


## これからは...

一人ひとりに持って生まれた能力やその人らしさがあります。子どもたちが自分の能力や個性を発揮して様々なことにチャレンジできるよう、見守っていきましょう。

### あなたはこれまで、疑問に思ったことはありませんか。

- ・サッカーや野球は男性、料理は女性のほうに向いている。
- ・理系の科目は男性、文系の科目は女性のほうが得意だ。
- ・保育士や看護師は女性の仕事であり、男性には向いていない。



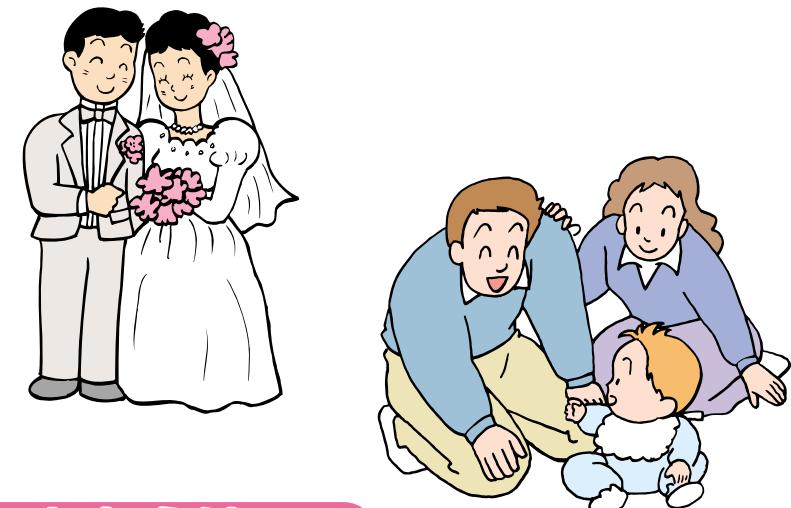
### これからは…

学校では、男女に関係なく子どもの個性や能力を伸ばすための取り組みを行っています。進学や就職のときにも、「なりたい自分」をイメージして希望する道を選択することが一人ひとりの能力や可能性を伸ばすことにつながります。

「男だから」「女だから」という枠にとらわれず、興味のある分野・やってみたい仕事にチャレンジしましょう。

### あなたはこれまで、このように考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・結婚したら、世帯主は夫がなるのが当然だ。
- ・女性が結婚を機に退職するのはやむを得ない。
- ・子どもは母親が育てるのが一番だ。



### これからは…

結婚・出産を機に「こうありたい」という生活のイメージは変わってきます。結婚し、子どもを産んでからも仕事を続けたい女性、仕事に専念してきたものの育児をしたい男性など、抱く思いは様々です。夫婦で家事や育児の役割分担をして協力しながら、仕事と生活のバランスを取りていきましょう。



あなたはこれまで、このように  
考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・父親は一家の中心だから、大黒柱として家庭を支えるのは当然だ。
- ・家族の介護は、妻や娘の役割だ。
- ・料理や掃除など、家事全般は女性の方が向いている。
- ・男性が洗濯物を干したり、スーパーで買い物をしたりするのは格好悪い。



これからは…

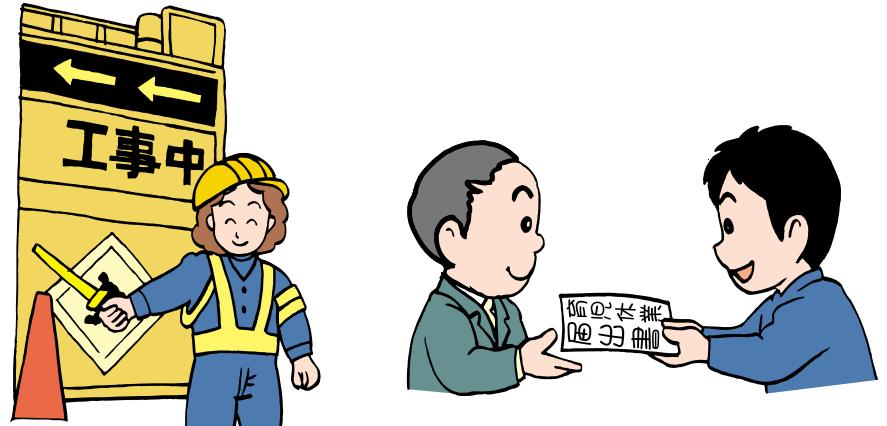
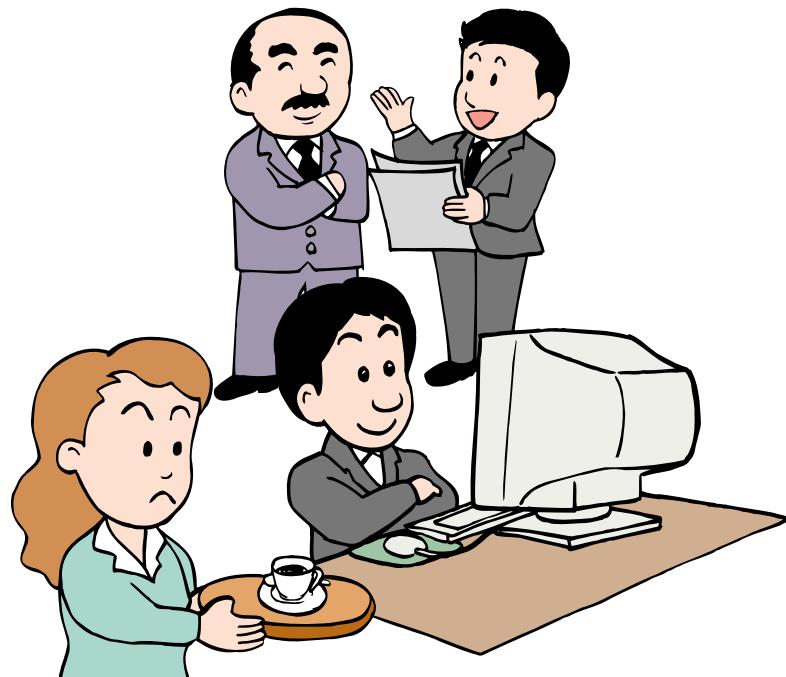
「家事・介護は妻や娘、庭仕事は夫」のように、性別によって役割を固定していないでしょうか。

家族一人ひとりの考えを尊重して認め合い、性別に関わりなく、家事・育児・介護など、家族全員で役割分担しましょう。



あなたはこれまで、このように  
考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・女性は家庭があるので、仕事の時間は短く、責任の軽い仕事に携わるべきだと思う。
- ・男性のほうが女性より、企画力や決断力に優れている。
- ・営業なら男性、事務なら女性の方が向いている。
- ・育児休業・介護休業は女性のためのもので、男性は取らないほうがいい。



### これからは…

男女が協力して双方の視点を活かし、性別に関わりなく興味のある仕事にチャレンジできる職場は、働きやすく、いきいきとした職場ではないでしょうか。

興味のある仕事にチャレンジし、責任を共有しながら、一人ひとりの個性や能力を発揮できる職場にしていきましょう。

## 自治会などの 地域の活動



あなたはこれまで、このように  
考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・自治会の役員は、男性が務めるほうが信頼感があり、うまくまとまる。
- ・地域の清掃活動には、主に女性が出たほうがよい。
- ・地域の活動は、仕事をしていない女性や高齢者に任せておけばいい。



## これからは…

地域の活動で、何気なく男性と女性の役割が決まっていることはないでしょうか。地域の活動では、男女の双方の視点を活かしながら、性別にとらわれずに協力して進めましょう。

## 団体・サークル活動

あなたはこれまで、このように  
考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・PTAでは、女性が中心に活動すればよいが、企画や運営について発言するのは、でしゃばりだ。
- ・妻が趣味や社会活動に熱中するのは、家事がおろそかになり感心しない。
- ・料理を勉強したいが、料理教室は女性が中心で、男性は参加しづらい。



### これからは…

団体・サークル活動で「この分野は女性」「この分野は男性」などとつい考えてしまうことはないでしょうか。

男女を問わず様々な人が集まれば、新しいアイディアや発想によって、活動がより充実するのではないかでしょうか。

「女性だから」「男性だから」という枠をはめずに、新しい分野にチャレンジしましょう。

## DVをなくそう！

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、配偶者や恋人など、親密な関係にある(あった)パートナーからの暴力のことをいいます。殴る・蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的に相手を追い込むことや経済的な暴力も含まれます。DVは、被害者の心と体を深く傷つける行為です。

あなたの周りに、  
次のような暴力は潜んでいませんか。

パートナー(配偶者・恋人など)が…

- ・殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたりする
- ・殴るそぶりや物を投げるそぶりをして脅す
- ・「誰に食わせてもらってるんだ」などと言う
- ・避妊に協力しない
- ・生活費を渡さない
- ・働きに行かない
- ・外出や電話を細かくチェックする

DVにお悩みの方、一人で悩まずお電話ください。

◎栃木県婦人相談所  
028-622-8644

◎とちぎ男女共同参画センター（パルティ）  
028-665-7714

◎下野市児童福祉課子育て支援グループ  
0285-52-1114



## 男女共同参画プランとは？

男女共同参画プランとは、人権尊重と男女平等の視点に立ち、男女の自立と共同参画社会の実現に向けた施策の指針となるものです。

下野市では、「シェアリング（わかちあい）しもつけー下野市男女共同参画プランー」（計画期間：平成20年～27年度）を策定し、プランをもとに、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。

プランの詳細は、市ホームページをご覧ください！

※シェアリング（わかちあい）には、みんなが“わかちあう”大切さをもって男女がともに協力しながら、男女共同参画社会をつくっていくという意味をこめています。



『男女共同参画社会』とは、  
男女がお互いの能力や個性を認め合い  
理解し合いながら、喜びや責任を  
わかちあうことで幸せに暮らす  
ことのできる社会です。

わかちあい  
**シェアリング** の心を大切に!

みんなが“わかちあう”大切さをもち、  
男女がともに協力しながら、男女共同参画  
社会をつくっていきましょう

下野市は、男女共同参画社会の実現を目指します。



編集：下野市総務企画部企画財政課

〒329-0492 栃木県下野市小金井1127

TEL0285-40-5552

ホームページアドレス <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>